

特認校に入学しませんか

市立小学校特認校は、特色ある教育活動を展開している学校を特認校に指定し、その教育環境の中で子どもを学ばせたい、学びたいという保護者や児童に対して、一定の条件のもとに既定の通学区域外からの入学を認めることにより、豊かな人間性を培うとともに、学校と地域の連携や活性化などの教育目標を実現しようとするものです。

特認校には、市内全域から入学できます。泉佐野市には大木小学校、佐野台小学校、第三小学校の3校の特認校があり、それぞれ特色ある教育活動を展開しています。各特認校への入学をお考えの場合は、3〜5ページをご覧ください。ぜひ学校見学・説明会へご参加ください。（児童数は令和4年5月1日現在）

※保護者の希望により特認校の校区の中学校に引き続き入学することができます。なお、通学区域などの児童数と定員との差を募集するため、募集枠が無い場合もあります。

【学校見学・説明会】

日時 10月22日(土) 午前中

※詳しい時間は、返信ハガキに記載します。

場所 各小学校

申込 希望者は10月17日(月)（必着）までに、往復ハガキに住所、子どもと保護者の氏名（ふりがな）、子どもの生年月日、電話番号（自宅・携帯）、参加者を記入し、参加を希望する小学校へ

【入学申込】

期間 10月24日(月)〜11月21日(月)（土・日曜日、祝日除く）

※詳しくは、市教育委員会で配付する「泉佐野市立小学校特認校児童募集要項」をご覧ください。

問合せ

● 学校教育課

● 大木小学校 (〒598・00023)

大木1443番地 ☎459・7344

● 佐野台小学校 (〒598・00074)

東佐野台1番1号 ☎464・0935

● 第三小学校 (〒598・00052)

旭町4番6号 ☎462・0560

豊かな自然に囲まれた 大木小学校



山あいなたたずむ木造校舎の小学校（児童数42人）

教育目標 「自らの思いを伝えあい、共に学びあい、人生や社会に活用できる子ども」を育てる

特色

●豊かな自然を生かした体験活動 学校のすぐ下を流れる大木川に生息する身近な生き物を観察する「川探検」や「ワラビ採り」、「田植え・稲刈り」などいろいろな自然体験活動に取り組んでいます。

●地域と一体の教育活動

●たてわり班活動、少人数を生かした学習指導

※登下校時にはスクールバスを運行（南海「泉佐野」駅、JR「日根野」駅などを經由）

大木小学校
勝間弘記 校長



大木小学校周辺は、本当に豊かな自然環境に恵まれ、ゆったりとした時間が流れていると感じます。なかなか見られない川魚や昆虫、自然の動物などがたくさんいるので、自然にふれる授業もたくさん行っています。例えば、春と秋の2回実施している「川たんけん」では、大阪公立大学の先生に来ていただく自然の昆虫などについての授業を行っているほか、地域を歩いて自然の植物・昆虫を見つたり歴史遺産を見て回ったりする「大木たんけん」、地域の農家さんにご協力いただいて「田植え・稲刈り」などの体験も行っています。

小規模校の特徴を生かした、1～6年生の「たてわり班」の活動では、高学年がリーダーシップを日常的に学ぶことで自分に自信が付き、自己有用感につながっています。また低学年も高学年の姿に憧れの気持ちをもって成長しています。また授業中、一人ひとりの発言回数が多くなるので、児童たちはアピール力やプレゼン力も身につけていると感じます。



◀田植え・稲刈り体験
地域の農家さんにご協力いただき、田植え・稲刈りのほか、じゃがいも・さつまいも堀りなどの体験も行っています。



◀学校のすぐ横で川たんけん

体育特認校 佐野台小学校



友だちと楽しく運動、楽しく学習 (児童数172人)

教育目標 「自らの生き方を創る子どもの育成」

～一人ひとりの個性を生かす教育の推進～

特色

- **体力向上の取組** 週に4回、2時間目終了後の15分間、体を動かす時間「UPタイム」を設定しています。また、日本体育大学への訪問やトップアスリートを招いてのスポーツ交流を行っています。
- **確かな学力を育む取組、ふれあい活動の取組**

佐野台小学校
岩谷朋子 校長



体育特認校である佐野台小学校では、遊びを通して、楽しみながら子どもたちの体力づくりをめざしています。

週4回の「UPタイム」では、なわとび、ステップ、ドッジボールなどの運動や保健の座学を15分間行っているほか、体育の授業の中で5分間「リズムジャンプ」の準備体操を行っています。

また本校では、体育専科の先生が体育の授業を行っているほか、市の「体力向上アドバイザー」に外部講師で来ていただき、週に3回の指導やスポーツテストの分析・助言をいただいています。

大阪体育大学と講師・学生ボランティアで連携協力をいただいているほか、5年生を対象とした日本体育大学でのスポーツ交流研修も行っています。

またトップアスリートと触れ合う機会が多く、夏休みには関空アイスアリーナでの全日本ジュニア強化合宿の公開練習スケート見学会や、先日も本市スポーツ大使の大山加奈さんによるスポーツ交流会を実施し、貴重な体験になったと思います。

◀週4回の「UPタイム」



◀スポーツ交流

9月8日(木)、本市のスポーツ大使に就任していただいているバレーボール元日本代表の大山加奈さんによるスポーツ交流が行われました。





花と緑があふれる学校（児童数128人）

教育目標 「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「がんばる子ども」の育成
～あいさつをしよう・やくそくをまもろう・おもいやりをもとう～

特色

- ICTを活用した学習 GIGAスクール構想により、学習用端末が全国の小・中学校に配備されましたが、本校ではこれまで培ってきたICT教育の基盤を生かし、より進んだ情報端末の活用に取り組んでいます。
- たてわり班活動、地域との交流
- 緑豊かな学校

第三小学校
林 勝行 校長



第三小学校では、ICT（情報通信技術）を活用して本来の目的である「学力向上」をめざしています。現在は、市内全ての小・中学校で一人1台タブレットPC端末等が導入されていますが、本校では平成27（2015）年度より他校に先行して一人1台導入しています。また、全ての教室への大型モニターの配置や、認知機能強化のツールを一人1アカウント用意してのトレーニングなども行っています。

あくまで「ICTは文房具」であり、情報活用能力（集める力・分析する力・表現する力・プログラミング的思考）や情報モラル教育に代えて「デジタル・シティズンシップ教育」を実践することが重要と考えています。

1年生から計画的にICTを活用した教育を進めているので、高学年になると教えなくても使えるようになっていきます。委員会活動の動画を自分たちで作成している子もいました。

また、昨年度よりJAET（日本教育工学協会）から「学校情報化優良校」の認定を受けているほか、府内20校が指定を受けているスマートスクール実現モデル校として、今年10月に「公開授業」が行われる予定です。

◀日常的に学校などでタブレットPC端末等を活用



◀学校情報化優良校認定証

第三小学校は、JAET（日本教育工学協会）より、教育の情報化に総合的に取り組み、情報化によって教育の質の向上を実現している学校として「学校情報化優良校」の認定を受けています。

